

# JAしまねびより

2017

# 7

July Vol.16

特集 JALまね 第3回通常総代会開催





第3回

# 通常総代会特集

J Aしまね第3回通常総代会を6月25日、島根県民会館大ホールで開催。総代会資料から平成28年度事業報告、平成29年度事業計画の基本方針など主な内容についてお知らせします。

2017



議長団（杉原総代（左）、栗栖総代）



あいさつする竹下正幸代表理事組合長

総代の皆様へ  
当日は、遠方より、或いはご多忙の中、ご出席いただき、心から御礼を申し上げます。  
そして、全ての総代の皆様に、統合からの任期中、様々な面でお世話になり、改めて感謝を申し上げます。  
今後も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

当日は、総代定数1,000人（欠員15人）に対し、962人（本人出席579人、委任状13人、書面出席370人）の出席。議長団に、杉原定氏（斐川地区本部）、栗栖卓三氏（いわみ中央地区本部）の両氏を選出し、各地区本部総代から意見、要望が出される中、前年度事業報告、新年度事業計画など全議案が可決承認されました。

竹下組合長が「JAしまねが発足して3年目を迎えた。一体感を一層強固なものとして、組合員・地域住民から選ばれ、頼られ、必要とされるJAとなれるよう改革を進めていく」とあいさつ。来賓の藤原孝行島根県副知事から、「農業を取り巻く環境はめまぐるしく変化しているが、JAしまねでは水稲肥料農薬価格の低減や米の買取制度の導入など、積極的に自己改革を実践している。今後も農業者所得の増大のための取り組みを続けていただくことに期待している」との溝口善兵衛島根県知事の言葉をいただきました。

また、JAしまねの発足以来、組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力いただいた方々の功労者表彰を行いました。



# 平成28年度 事業報告

平成28年度は、安倍内閣のもとデフレ脱却の兆しは見えつつあるものの、経済成長率は依然として低迷状態にあり、設備投資や個人消費等の改善には鈍さも見られるほか、マイナス金利の影響もあり、先行きの景気回復には不透明な面が見られました。

また、海外では英国が国民投票によりEU離脱を決定し、米国では政策運営能力が未知数とされるトランプ政権が発足するなど、国際的な政治・経済の先行きも不透明感が高まっています。

TPP（環太平洋経済連携協定）については、平成28年12月の臨時国会においてTPP承認案及び関連法案が可決・成立したものの、米国トランプ大統領の就任により現政権でのTPP発効は難しい状況となっています。今後、FTA（日米自由貿易協定）交渉や、EPA（日EU経済連携協定）交渉の動向も注視し、日本の「食」「農」「協同組合」の重要性をアピールする運動を引き続き展開していく必要があります。

組織情勢では、平成28年4月に新農協法・政省令・監督指針が施行されました。また、農協法附則において、政府は准組合員の事業利用規制の在り方について、5年間、正組合員及び准組合員の組合の事業の利用の状況並びに改革の実施状況についての調査を行い、

検討を加え結論を得ることとしています。

JA自己改革については、農協法5年後検討条項をふまえ、JA全国大会決議である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を最重要課題として取り組んできましたが、大会実践期間である平成31年3月までに着実に実践し、十分な成果を上げ、組合員やJAグループ外部からの評価を高めていくことが不可欠となっています。

こうした状況の中、平成28年度は「農業戦略実践3カ年営農計画」初年度として、営農指導と経営指導を通じて、組合員・生産者の所得向上に向けた取り組みを実施しました。取り組みの結果、販売品販売・取扱高が38,259百万円、購買品供給高が34,092百万円、貯金残高が994,007百万円、貸出金残高が308,072百万円、長期共済保有高3,659,406百万円となりました。

財務状況については、内部留保に努め、自己資本比率は15.21%となりました。

収支面については、事業利益が1,050百万円、経常利益は2,014百万円となり、当期剰余金は1,295百万円となりました。主な事業活動と成果の詳細については次ページのとおりです。

■貯金残高	994,007	百万円
■貸出金残高	308,072	百万円
■長期共済保有高	3,659,406	百万円

自己資本比率 **15.21%**

■事業利益	1,050	百万円
■経常利益	2,014	百万円
■当期剰余金	1,295	百万円



## 組合員の状況

### (1) 組合員数

(単位：組合員数)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	66,407	918	2,460	64,865	
	法 人	農事組合法人	193	6	3	196
		その他法人	191	14	2	203
	計	66,791	938	2,465	65,264	
准組合員	個 人	164,553	4,207	3,276	165,484	
	農 業 協 同 組 合	1	0	1	0	
	農 事 組 合 法 人	24	1	1	24	
	そ の 他 の 団 体	1,889	26	26	1,889	
	計	166,467	4,234	3,304	167,397	
合 計		233,258	5,172	5,769	232,661	

### (2) 出資口数

(単位：口)

資格区分		当 期 首	当 期 増 加	当 期 減 少	当 期 末	
正組合員	個 人	17,180,472	319,811	625,227	16,875,056	
	法 人	農事組合法人	25,872	362	506	25,728
		その他法人	31,765	3,879	2,309	33,335
	計	17,238,109	324,052	628,042	16,934,119	
准組合員	個 人	5,569,760	307,335	238,378	5,638,717	
	農 業 協 同 組 合	3,650	0	3,650	0	
	農 事 組 合 法 人	1,785	11	80	1,716	
	そ の 他 の 団 体	91,987	4,051	839	95,199	
	計	5,667,182	311,397	242,947	5,735,632	
処分未済持分		157,964	128,177	157,964	128,177	
合 計		23,063,255	763,626	1,028,953	22,797,928	

適要：(1)出資一口金額

1,000円

(2)当期末払込済出資総額 22,797,928,000円

## 財務・事業成績の推移

(単位：百万円)

区 分	項 目	平成27年度	平成28年度	
財 務	事 業 利 益	917	1,050	
	経 常 利 益	1,878	2,014	
	当 期 剰 余 金	1,266	1,295	
	総 資 産	1,091,408	1,104,465	
	純 資 産	78,907	77,982	
信用事業	貯 金	978,185	994,007	
	預 金	480,794	498,551	
	貸 出 金	307,875	308,072	
	有 価 証 券	国 債	89,969	82,394
		そ の 他	88,998	88,894
		長期共済保有高	3,779,540	3,659,406
共済事業	短期共済新契約掛金	10,227	10,267	
購買事業	購買品供給高	35,004	34,092	
販売事業	販売品販売高・取扱高	36,512	38,259	

(注1) 貯金は譲渡性貯金を含む。

(注2) 販売品販売高・取扱高は受託販売品と買取販売品の合計。

## 第3事業年度 剰余金処分

(単位：円)

1. 当期末処分剰余金	2,040,764,952
2. 剰余金処分額	1,551,763,041
(1)利益準備金	260,000,000
(2)任意積立金	952,000,000
農業振興積立金	150,000,000
農業災害積立金	100,000,000
米価格変動積立金	200,000,000
教育研修充実積立金	50,000,000
信用事業システム開発積立金	50,000,000
BIS規制強化対応積立金	200,000,000
経営安定化積立金	152,000,000
施設等更新積立金	50,000,000
(3)出資配当金	339,763,041
3. 次期繰越剰余金	489,001,911

(注1) 出資配当金は年1.5%の割合です。

(注2) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善事業の費用に充てるための繰越額64,757千円が含まれています。



# 主な事業活動と成果

## 【農業振興】

JAしまね農業振興支援事業において平成28年度から新たに「魅力ある産地づくり支援事業」を新設し、「農業戦略実践3ヵ年営農計画」の重点事項である園芸推進5品目の拡大支援やしまね和牛増頭支援、島根デラウェア改植促進支援をメニュー化し、農業生産額の拡大、農業所得の増大に取り組みました（支援額5億8百万円）。

## 【販売事業】

### <米 穀>

米穀は平成28年度の島根県における水稻の作況指数が104（前年98）となり、主食用予想収穫量は91,300トﾝで前年比3,300トﾝの増加となりました。また、28年産米から島根米の買取制度を導入し、集荷数量は平成29年3月末現在で40,572トﾝとなり、前年を上回る結果となりました。



アグリマーケティング2016

### <園 芸>

島根ぶどうが共販60周年を迎え、販売面で積極的に推進した結果、デラウェアは過去最高の単価となりました。



### <畜 産>

品質向上対策や購買者誘致に継続的に取り組むとともに、JAしまね農業振興事業により繁殖雌牛増頭運動の実施や販売強化に努め、平成28年度の子牛市場上場頭数が5,231頭（前年対比100.2%）となり、4年ぶりに前年を上回る結果となりました。



## 【資 材】

肥料・農薬・飼料について、水稻肥料・農薬の銘柄統一や値下げ等を通じ、低価格による供給を進めました。

## 【信 用】

島根県産農畜産物プレゼントキャンペーンを実施し、貯蓄推進に併せ農畜産物消費拡大に取り組むとともに、貸出金では認定農業者支援資金により農業担い手支援を行いました。

## 【共 済】

契約者へのフォロー活動や、JAしまねこども倶楽部を通じた次世代対策を通して、地域への安心満足の提供と信頼の獲得に取り組みました。

## 【くらしの活動】

豊かでくらしやすい地域社会の実現のため、家の光の購読拡大運動をはじめとした教育文化活動、JA女子大学の開催や児童を対象とした食農教育（アグリキッズ）などを通じた「生きがい、ふれあいづくり」、健康に対する意識向上と体力づくりの促進などに積極的に取り組みました。これらの活動が評価され、平成29年2月に「第67回家の光文化賞」を受賞することができました。



あぐりスクールでの牧場体験



JA女子大学



家の光大会

# 平成29年度 事業方針

## 農業振興

### 方針

平成28年6月に開催した第2回通常総代会で決議された「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた農業振興に係る具体的な行動計画や数値目標に沿って、JA役員と組合員が一体となって取り組みを進めます。

計画達成に向け、営農指導体制の強化や担い手支援体制の確立、JA独自の農業振興支援事業による生産基盤強化等をJAとして行うことに合わせ、県や市町村と連携した地域農業の振興により、産地活性化と農家の手取り最大化の実現に努めます。

特に、平成30年産からの農政改革に向けて、島根県産米の生産方針について県再生協議会を中心に、県、市町村、地域再生協議会と連携し、農家所得の向上につながる米生産計画、新規需要米による生産調整等をJAも一体的に進めます。

また、島根農業の中心的な担い手である特定農業法人、集落営農、大型担い手農家等への農地集積による効率的農業の普及と会計支援システムの更新を図り、記帳代行やデータ提供による組合員の利便性向上と経営分析による経営の安定化に努めます。

継続性のある水田営農の実現に取り

組むとともに、園芸5品目と和牛繁殖産地再生による複合的な営農形態を通じた農家所得向上を重点的に取り組みます。

### 重点事項

- ①「農業戦略実践3カ年営農計画」の実現
- ② 営農指導体制整備
- ③ 担い手支援
- ④ 農業経営管理支援
- ⑤ 労災保険加入支援
- ⑥ JAしまね農業振興支援事業

## 全般

### くらしの活動

安心して暮らせる豊かな地域社会の実現を目指して、女性組織、青年組織をはじめ、組合員や地域住民の参加によるくらしの活動に取り組みます。取り組みに際しては、組合員の多様なニーズについて、アンケート調査等を通じて把握するとともに、アクティブ・メンバーシップ（組合員が積極的にJAの事業や活動に参加すること）の確立を目指して、活動の質の向上と参加

者の満足度の向上に努めます。

### 販売事業

しまねブランド商品として県産農畜産物の販売力強化に向けて取り組みとともに、生産基盤の維持・拡大を図るため、「農業戦略実践3カ年営農計画」に掲げた「販売を起点としたものづくり」の実現に向け、行動計画を策定し進捗管理を行うことにより、生産現場での営農指導と販売を連携させた実践策を講じます。

### 購買事業

農家組合員の営農を支え地域農業の振興に資するため、営農指導部門・販売部門・TACと一体となって効率的な購買事業を進め、農家組合員の生産コスト低減と組合員サービスの充実・強化に努めます。

また、組合員・地域住民の暮らしを支援し、時代の変化・多様なニーズに対応した商品の提供が行えるよう、生活購買事業・店舗購買事業・自動車燃料事業を積極的に取り組み、地域の活性化にも貢献するとともに、より一層のサービスの充実にも努めます。

### 信用事業

「利用者満足度向上から事業利用拡

大への循環をつくり、島根の豊かな農業と活気ある地域を守るJAバンク」の実現のため、JAバンク自己改革「3本の柱」の完遂を目指します。

また、マイナス金利政策導入により信用事業を取り巻く環境が厳しさを増すなか、コスト削減を図りながら本店・地区本部が一体となって事業戦略を展開し、JA信用事業基盤の維持・拡大に取り組みます。

- ① 農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応
- ② 信用事業の効率化
- ③ 農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供

### 共済事業

組合員・利用者への「安心」「満足」の提供と信頼を獲得するため、事業実施体制のさらなる高度化及び平準化に取り組みながら、組合員・利用者はもとより、新規利用者拡大に向けた積極的な取り組みと、地域農業・地域社会への貢献を目的とした事業活動を展開します。

また「JAしまね共済事務センター」設置による事務の合理化及び効率化、自動車事故相談体制の充実強化を図り、「最良品質のサービス」提供を目指します。



# 功 労 者 表 彰

JAしまねの発足以来、役員として組織運営の牽引ならびに地域との橋渡し役として尽力され、新生JAの礎を築かれた退任役員の方々の功績を讃え、功労者表彰を行いました。



功労者を代表して  
あいさつする萬代宣雄氏

当日出席された功労者の方々  
(左から萬代宣雄氏、堀川栄市氏、米原稔氏、周藤昌夫氏、橋本正嗣氏、佐々木勘次氏、長岡昌利氏、足立幹男氏、築橋良治氏)

## 功 労 者 表 彰 名 簿

平成28年6月退任の皆様

在任時の役職

選出地区等

田中	服部千津子	岡崎時明	築橋良治	中島一	武田俊吉	石飛正登	足立幹男	長岡昌利	長崎勉	杉谷勤	長廻英夫	松浦嘉昭	佐々木勘次	戸谷宣義	橋本正嗣	周藤昌夫	米原稔	堀川栄市	萩尾秋光	内田孝志	玄行政美	萬代宣雄
監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表理事組合長
本店(女性協)	西いわみ	島根おち	斐川	出雲	出雲	出雲	出雲	雲南	雲南	くびき	くびき	いわみ中央	くびき	西いわみ	斐川	出雲	隠岐どうぜん	隠岐	雲南	本店	出雲	

雲南

## 空き店舗活用 地域住民の憩いの場

雲南市三刀屋町中野地区にある中野の里づくり委員会(深石広正会長)による直売所「笑(え)んがわ市(三浦由美子代表)」が6月8日に6周年を迎え、約70人が訪れました。売店の横にはサロンが併設されており、地元スタッフや利用者から持ち込まれた手料理や、コーヒーなどが200円で振舞われます。毎週木曜日に営業しており、地域住民の憩いの場となっています。

2010年10月に中野地区唯一の商店だった、旧JA雲南中野店舗が閉店。地元の女性活動グループが、JAの空き店舗を利用して地元の野菜や特産のこんにゃくを取り扱えないか提案し、同委員会や中野地区のJA女性部、地元有志が集まり、産直市運営を企画しました。

三浦代表は「スタッフを含めた全員が楽しんでいるからこそ、続けられています。この雰囲気を大切にしたいです」と話しました。



賑わいを見せるサロン

くにびき

## 宍道支店で年金感謝デーに トラック市が開催！

くにびき地区本部宍道支店とくにびき産直出荷者協議会宍道支部は、6月15日の年金感謝デーにあわせて、軽トラックの荷台で野菜や果物を販売する「トラック市」を同支店前で開きました。夏野菜や加工食品を販売し、来店客は思い思いに買い物を楽しみました。



来店客が増える年金感謝デーに、地元農産物のPRに繋がってもらおうと、昨年から隔月で開催。野菜の販売以外にも、くにびき女性部宍道支部の部員が支店内にカフェを設けて、来店客をもてなします。

当日は、同協議会宍道支部の会員7名がナスやトマト、加工食品を持ち寄り、トラックの荷台に陳列。開店と同時に多くの人を訪れ、1時間もかからずに商品が売り切れました。また、特設カフェではリングジュースとショウガで作った「リングショウガかん」(家の光2月号参照)と抹茶を振る舞い、訪れた客は「お茶がおいしかった」と満足そうでした。同



支部の杉井キミエ部長は「多くの人に喜んでもらえて嬉しい。今後もいろいろなもてなしを考えたい」と話しました。

隠岐

## 島外視察研修で 椎茸栽培技術の向上を図る

隠岐農産物生産者協議会の椎茸部会は6月14日～15日の2日間、椎茸栽培技術の向上などを目的として島外視察研修会を行い、会員やJA職員など12人が参加しました。

研修初日には、鳥取市にある「日本きのこセンター」が運営管理している椎茸ほだ場を、同センターの場長と所長の説明を受けながら視察しました。会員らは、椎茸栽培の方法についてなど活発に質問していました。その後、JA全農主催の生産者交流会に出席し、椎茸生産の楽しさや厳しさについて意見を交わしました。

2日目には、鳥取県の県民体育館で開催されたJA全農主催の乾椎茸品評会に参加しました。同部会の会員も出品しており、「こうしん中葉中肉の部」で宇野武夫さんが全農理事長賞を受賞しました。品評会には全国から高品質の乾椎茸が多数出品されており、今後の椎茸栽培の参考となりました。



椎茸ほだ場で説明を受ける参加者

やすぎ

## いもイモ★大作戦今年も好評

やすぎ地区本部が安来市穂日島町の中海干拓地で食育と地産地消の推進を図ることを目的に毎年開催している、サツマイモの苗植え体験イベント「いもイモ★大作戦」が今年も好評です。

6月4日に市内外から40家族、約130人が参加し、JAの営農指導員から説明を受けながら一区画10本の「べにはるか」の苗を定植していきました。今年によりサツマイモについて知ってもらおうと、栽培管理の他、品種の特徴や苗の説明などを詳しく掲載したサツマイモ栽培マニュアルをJAの担当者が手作りで作成し、配布しました。

親子で参加した女性は「去年は収穫だけだったが、子どもが楽しんでいたのが今年は定植から挑戦した。秋の収穫が楽しみ」と話しました。今後は収穫まで各自で除草作業などの管理をし、秋には収穫祭や重さを競うコンテストも行う予定です。





## 斐川

### ぶどう集荷所開所式を開催

斐川町ぶどう生産組合は6月9日、出雲市斐川町の中央集荷所で29年産の斐川ぶどうの集荷所開所式を行いました。29年産は昨年より早い出荷開始となり、品質も良いものとなっています。

同生産組合の矢野恵司組合長は「難しい天候の中、質の良いぶどうが出荷できた。梅雨に入り、これからはより雨との戦いとなる。今年は斐川ぶどう共同販売60周年を迎える年であり、体に気をつけて農家の方々が笑顔で良かったと言える年にしたい」と挨拶しました。

また、斐川町のぶどうをPRしてもらうため、出雲市役所斐川支所の青木昭支所長と斐川地区本部の山根善治本部長へ斐川産デラウェアを贈りました。



斐川産ぶどうを受け取る青木支所長(左)と山根本部長(左から2人目)

## 隠岐 どうぜん

### 保育園児が田植えの見学会

隠岐どうぜん地区本部の海士支店では6月12日、保育園児を対象とした田植えの見学会を行い、海士町のけいしょう保育園の年長組19人が参加しました。

この見学会は、次代を担う子どもたちに食の大切さなどについて学んでもらう食農教育の一環として毎年実施しており、4月の種まきの見学に続いて、今回は田植えの見学を行いました。

当日は天候に恵まれ、営農指導員の本多安則職員から田植え作業について説明を受けた後、同職員が所有する圃場で乗用田植機による実際の田植えの様子を見学しました。子どもたちは田植え作業よりも田植機に興味津々の様子で、田植機についてのいろいろな質問をしていました。

秋には稲刈りと籾摺りの見学会も予定しています。



田植の様子に興味深く見つめる園児たち

## 石見銀山

### あぐりスクール生き物調査

石見銀山地区本部は6月17日、今期2回目の「あぐりスクール」を開きました。11家族27人が参加し、前回植えた野菜や米の生育状況を観察した後、農事組合法人やまべの水田で生き物調査をしました。当日はドローンを使った空撮をしました。動画は同地区本部農産課のフェイスブックに掲載する予定です。

網とバケツを手手に田んぼに入り、カエルやイモリ、ミズカマキリなど約20種類の生き物を捕まえ、班ごとに発表しました。参加者は「いっぱい生き物を見つけられて楽しかった」「見つけるのが難しかった」「田んぼの中がぬるぬるだった」など感想を話しました。

生き物調査を終えると、JAしまね石見銀山女性部大代支部が用意したエコロジー米のおにぎり、大田産の具材を使った豚汁を味わいました。



生き物調査をする参加者

## 出雲

### 出雲コーチン利用促進協議会設立 地鶏のブランド化を目指して

絶滅の危機に瀕している地元の鶏「出雲コーチン」を保存し、ブランド化を図るため、出雲コーチン利用促進協議会が設立されました。島根県畜産技術センターで6月15日、設立総会が開かれ、JA、行政機関、島根県立出雲農林高校、畜産農家ら30人が出席しました。

「出雲コーチン」は、大正から昭和にかけて出雲地方を中心に飼育されていましたが、その後飼育数は減り、一時は数羽にまで減少。農林高校の生徒がこの状況を知り、研究課題として増殖への取り組みを開始しました。そこに地鶏の生産販売に意欲的な市内の畜産農家が加わり「出雲コーチン」復活に向けた活動が始まりました。平成28年7月に畜産技術センター、農林高校、畜産農家、JAで第1回出雲コーチン利用促進打合せ会議が開かれ、その段階で確認できた「出雲コーチン」は17羽。順調に飼育され、現在は120羽以上に拡大しています。

平成29年度は、原種の維持・利用のルール化の検討や、地鶏生産のための交配種選定などに取り組む計画です。産官学連携で、「出雲コーチン」を軸としたブランドの確立を目指します。



畜産技術センターふれあい動物広場の出雲コーチン

西いわみ

## 益田市長へ シャインマスカットを贈呈

西いわみ地区本部ぶどう部会（部会長福原博）は6月5日、益田市役所を訪れ益田市のPRに役立ててほしいと山本浩章市長にシャインマスカットを贈呈しました。

同部会の福原博部会長、同部会青年部の岩崎崇司部長、西いわみ地区本部の田村清己本部長が益田市長と面会し、超早期加温栽培を行ったシャインマスカットを手渡しました。

シャインマスカットを試食した山本市長は「口の中でシャインマスカットの香りが広がってとてもおいしいですね」と感想を話しました。

全国では長野県、山梨県、岡山県に次いで、5月25日に初出荷が行われ、また5月の出荷は島根県が2006年にシャインマスカットを導入以降初めての事となりました。



山本市長（左）にシャインマスカットを手渡す福原部会長

本店

## アグリレディース大学を開催

JALまね女性部は6月6日～8日の3日間、「第11回アグリレディース大学」を開催し、県内各地から女性部員など29人が参加しました。

この企画は、女性部員が地域や世代を超えて交流・情報交換することにより仲間意識の輪を広げて親睦を深めるとともに、見識を広め女性部活動の活性化を図ることを目的に2年に1回開催しています。

11回目となる今年度は九州を視察先に選び、熊本地震被災地を訪れて震災への備えや復興支援について学ぶとともに、防災に対する意識を高め、万一のための女性組織活動をすすめる契機としました。

JALまね女性部は今年4月に県単一組織として発足しました。今後も様々な活動を通して仲間づくりの輪を広げ、女性部の活動の基本である「食と農を基軸とした活動」などの充実をはかっていくこととしています。



被災した熊本県の藤本牧場で藤本亨大代表取締役（左）から説明を聞く女性部員

島根おおち

## スーパー「スパーク」 役職員が管内産地を視察

島根おおち地区本部米穀農産課は、6月27日、広島市内のスーパー「スパーク」の役職員6人を招き、出荷している野菜について理解と関心を持ってもらうため管内の農地を視察案内しました。

「スパーク」とは、野菜の出荷をはじめ、11月から約1ヶ月間で管内産のもち米の宣伝のため職員数人が交代で店舗前で杵つきもちの実演販売を行うなど30年以上前から交流しています。

視察したのは、出羽地区にあるミニトマト農家や高原地区にある農事組合法人星ヶ丘の中ナス、白ネギの圃場と島根おおち地区本部の野菜の集荷場、米倉庫、牛舎といった施設などです。

スパークの役職員は「産地を実際に見ることが出来て非常によかった。直接農家と情報交換し、生育を確認することができ、大変勉強になった」と話されました。



いわみ中央

## かわピコまつり盛大に開催！

江津市後地町の道の駅「サンピコどうつ」で6月17日～18日の2日間、「かわピコまつり」が開催されました。「サンピコ」は海彦（うみピコ）、山彦（やまピコ）、川彦（かわピコ）の三人に由来しており、それぞれ海の幸、山の幸、川の幸を象徴しています。この祭りではその名のとおり、清流「江の川」の幸である若鮎のつかみ取りや鮎の塩焼き、川魚の天ぷらなどの販売が行われ、多くの来場者で賑わいました。

また、18日には、同道の駅内の産直市場のレジ通過者が100万人を突破し、100万人目となった江津市江津町の主婦中谷葵さんに記念品が送られました。いわみ中央地区本部からは井上宗治本部長が「石見白いるかの舞（コシヒカリ10kg）」を記念品として贈呈しました。

中谷さんは、若鮎のつかみ取りを楽しみにご主人と長男とともに訪れていて、「山口県岩国市から転居して6月1日に江津市民になったばかりで感激しています。産直市場は野菜も魚介も新鮮で安心できるので、今後も利用したいです」と喜んでいました。



井上本部長（右）から記念品を受け取る中谷さん家族



# 「しまね夏の花」品評会開催

とき

平成29年

7/29(土)・30(日)

29日(土)

一般展示 9:00~16:00  
表彰式 9:30~10:00

30日(日)

一般展示 9:00~15:00  
※展示の即売も行います。

ところ

ゆめタウン出雲 東館太陽の広場 (出雲市大塚町650-1)

「私たちが選んだ花」賞を決定!!

ご来場の際、一番良いと思われた花に投票してください。

一番多かった作品に投票された方の中から抽選で粗品をプレゼント!!

無料で  
体験!!

## 親子フラワーアレンジメント教室開催!!

親子で島根の花を中心にしたフラワーアレンジに挑戦してみませんか?

(公) 日本フラワーデザイナー協会島根県支部が講師!

作った作品とともに「しまねっこ」と記念撮影!

※「しまねっこ」の来場は7月30日回のみです。

両日、午前・午後各1回  
各10組まで

主催: 島根県農業協同組合・島根県花き生産者協議会

後援: 島根県・島根の花振興協議会・ゆめタウン出雲・しまね花商組合・JAアグリ島根

■この件に関するお問合せは JALしまね 米穀園芸部園芸課 TEL:0853-25-8694

## 農林大オープンキャンパス 「緑の学園」参加者募集

見て触れて農林大の風・土・緑を感じませんか!

7/28(金)・8/2(水)・6(日)・21(月)

大田市と飯南町の両キャンパスで開催



- 農林大学校では学生募集の一環として、高校生をはじめ、本校の学習・研修に興味を持っている方を対象に、オープンキャンパス「緑の学園」を開催します。
- 体験実習は、有機農業・野菜・花き・果樹・肉用牛・林業コースがあります。
- 各実施日の7日前までに申し込みが必要です。
- 詳しくは農林大学校のホームページ、または島根県立農林大学校 (TEL0854・85・7012) まで。

### 組合員からの情報提供窓口について

当組合の監事は、経営の健全な発展に資するため、農協法(法第35条の5)および農協法施行規則(第81条)に基づき、理事の職務の適正な遂行を阻害する行為に関する情報(組合経営に関する事象に限る)の提供を受け付けています。

当組合理事の組合経営に関する気になる行為について、封書またはEメールにて右記宛に連絡くださいますようお願いいたします。

島根県農業協同組合 監事会

連絡先: 住 所 〒690-0887 松江市殿町19番地1

Eメールアドレス kanji.hon@ja-shimane.gr.jp

部署名 監査部

受付 監事 常勤監事

※当組合の業務に関する一般的な苦情については、担当部署または支店で受け付けていますのでご利用ください。

※ご好意による情報提供であっても、誹謗・中傷に類似する内容のものは受付いたしかねますので、予めご了承ください。

営農技術情報

今年は空梅雨模様で水管理には皆さん苦労されていると思います。



今回はコシヒカリの穂肥について説明します。穂肥とは、稲の場合穂が出はじめた登熟期に吸収しやすい窒素分を主体にした肥料を与えることで、JAの稲作暦のコシヒカリについては、NK化成C-12号（窒素16%、加里20%）を1回目10kg、2回目10kgと表記してあります。

稲作暦で見れば全量で10aあたり20kg施用するように思えますが、20kgは最大量で実際は葉の色と1株当たりの茎数を確認し施用量を調整します。（稲作暦P14早見表参照）

適期の1回目は幼穂の長さが概ね5~10mmのとき、2回目は1回目の7~10日後が目安となり、茎数が少なく葉色が薄いと10kgを上限に施用しますが、逆に葉色が濃く茎数が多いと施用しません。（肥料過多は倒伏や病害虫発生の原因になります）

省力化のため一発型肥料のセラコートRワンを使っている方は、基本的には穂肥は不要ですが、高温による肥料消費が多く葉色が薄い場合には少しC-12を施用することをお勧めします。

適期に適量の肥料を施用することで、未熟粒や乳白粒の少ない良質米生産につながるよう施肥、今後の水管理をお願いします。



営農情報

隠岐の島町水田営農経営研究会総会開催

6月20日、隠岐支庁農林局別棟営農相談室において隠岐の島町水田営農経営研究会の総会が開催されました。

会員14名、関係機関8名が出席する中、平成28年度の活動・決算報告と平成29年度活動計画・予算案について承認され、総会後は泥落としを兼ねた懇親会で隠岐の農業について熱く語り合いました。



隠岐の島町水田営農経営研究会は平成25年の総会で隠岐支庁が事務局を持つ「島後水田営農経営研究会」とJAが事務局を持つ「島の香り隠岐藻塩部会」が統合し1つの組織として30名の会員で新たにスタートしました。主な活動としては島内現地研修会、島外先進地視察、酒米研修会、他組織との意見交換会に精力的に取り組んでいます。

この組織や活動に興味のある方がおられましたら、お気軽にJAしまね隠岐地区本部経済課または隠岐支庁農林局農政・普及部までお問い合わせ下さい。

（報告／経済課）





平成29年度隠岐郡畜産共進会の開催について



が出品され、島後地区からは4頭の牛が出品されました。共進会は、子牛の部（5ヵ月齢以上〜12ヵ月齢未満）と若雌の部（12ヵ月齢以上〜22ヵ月齢未満）に区分し審査競技が行われ、子牛の部では西ノ島町、若雌の部では海士町の生産者が飼育された出品牛が首席となり、その後、子牛の部・若雌の部で首席となった出品牛で審査競技を行ない、若雌の部で首席であった出品牛がグランドチャンピオンとして表彰されました。グランドチャンピオンに選出された牛については、10月21日に予定をされている島根県の畜産共進会に出品される予定です。当地区本部管内から出品された牛の内、子牛の部で藤野基彦さん飼育の出品牛が2席、高橋清さん飼育の出品牛が4席に選出され

6月15日、海士町にある隠岐神社の外苑において、隠岐郡畜産共進会が開催されました。隠岐島後地区・島前地区で繁殖飼育された黒毛和牛25頭

ました。隠岐地区本部管内の飼育頭数は年々増加傾向にあり、また子牛の販売価格も高止まりとなっていることから、より生産技術の向上を図りこれからも良質の牛が高値販売に繋がるよう、生産者とJ・A・関係機関が一緒になって生産技術等の向上が図れるよう、これからも進めて参ります。



7月 家畜市場



7月4日、島後畜産センターにおいて今年度最初の西郷家畜市場を開設しました。全子牛上場頭数は109頭となり、月齢と体重にバ

子牛（単位：円）

性	入場頭数	取引頭数	1頭当価格			平均体重	1kg単価	平均日齢	前回比	前回
			最高	最低	平均					
♀	40	36	735,480	395,280	597,540	211	2,832	210	-12,076	609,616
♂	2	2	619,920	611,280	615,600	284	2,168	249	1,080	614,520
去	67	63	794,880	346,680	666,497	236	2,821	231	-75,972	742,469
計	109	101	794,800	346,680	640,910	228	2,808	224	-45,348	686,258
再	7	7	758,160	501,120	631,954	226	2,802	212	-23,246	655,200
計	116	108	794,880	346,680	640,330	228	2,808	223	-44,947	685,277

成牛（単位：円）

性	入場頭数	取引頭数	1頭当価格			平均体重	1kg単価	平均日齢	前回比	前回
			最高	最低	平均					
♀	6	5	514,080	87,480	257,472	484	532		-174,258	431,730
計	6	5	514,080	87,480	257,472	484	532		-174,258	431,730
再	1	1	169,560	169,560	169,560	481	353		169,560	0
計	7	6	514,080	87,480	242,820	484	502		-188,910	431,730

ラつきがあるものの、今回も隠岐牛の特徴でもある放牧による足腰のしっかりした牛が多く出品されました。平均売買価格は約640,000円と前回3月市場より約45,000円安の取

引となりましたが、依然高値での取引は維持しています。現在、全国的に枝肉価格が軟調に推移していることから、肥育農家が出荷を控える傾向がみられ、それに伴い肥



育の素牛となる子牛取引の引き合いが弱まっており、子牛価格の下げ基調の相場展開となりました。しかしながら、全国的な肥育素牛価格が高騰している状況に

は変わりなく、肥育経営を圧迫しているため、今後の相場展開に目が離せない状況から引き続き子牛繁殖農家での飼養頭数の維持・拡大と担い手づくりを生産者や関係機関と協力し取り組みたいと思います。

また先月6月9日には島後和牛改良組合の総会が開催され、生産者の意識統一を図りました。

今後も「子牛飼い方マニュアル」を活用し、購買者に支持される隠岐らしい子牛の生産を心がけ、関係者一丸となって取り組んで参ります。

(報告／経済課)

**隠岐島農産物生産者協議会  
野菜果樹花卉部会合同島外視察**

隠岐農産物生産者協議会の「野菜部会」「果樹花卉部会」は合同で6月28



日(29日)にかけて部会会員、隠岐の島町、JAなど関係者11名で島外視察研修会を実施いたしました。

1日目は奥出雲町にある「田部農園」を視察し、キャベツや葉物の栽培技術について質問を交えながら研修をいたしました。

その後、雲南市吉田町の道の駅にある産直市場「よつごしな菜」の視察を行い、産直市の運営にあたっての実務的な事(販売手数料や運営主体)などについて勉強をいたしました。

2日目は農業技術センターへ視察に伺い、ここでは野菜・果樹・花卉の栽培についての概要説明を受けました。午後からは松江市近郊にある「まるなつ農園」を視察させて頂き、野菜の栽培技術、新規就農者の獲得方法



などのお話を聞くことが出来ました。その後、JAグリーン川津にあるインショップの見学をした後、帰路につきま

では野菜などの栽培方法について、視察先の生産者の方との活発的な意見交換をすることができ、今後の生産活動に大役役立つ研修となりました。

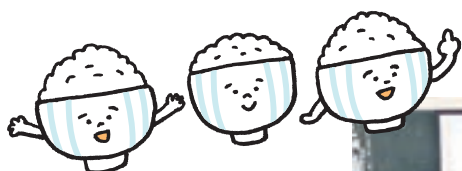
(報告／経済課)

**五箇小学校でお米の授業**

6月29日(木)五箇小学校5年生13名を対象にお米の授業を実施しました。

JA経済部から2名の職員が出向き、隠岐の島の米作りの現状や現在のよ様な機械化が進んでいる中での農作業方法、機械化が進む前と現在の作業効率の違い、また全国で栽培されている品種の紹介や通常のお米と「島の香り隠岐藻塩米」の栽培方法・特徴の違いなどについて説明しました。

児童からの質問には、「藻塩を散布



(報告／経済課)

したら塩ストレスの影響で玄米が銚色になるとのことだが、精米したお米も色がついているのか」など、多くの質問がありました。授業の終わりに特選藻塩米3合を炊飯し試食会を行いました。皆美味しうとおかわりし、用意したお米は全てなくなりました。

今後も、隠岐地区本部では出前授業など各学校と協力し食農教育の一環として取り組んで参りたいと考えています。



地区本部総代説明会の開催について

隠岐地区本部は、6月12日隠岐島文化会館において、平成29年度隠岐地区本部総代説明会を開催し、総代、地区本部運営委員、支店運営委員、関係者など約80名が出席いたしました。隠岐地区本部より、6月25日に開催しました第3回通常総代会に向けた平成28年度JAしまねの事業・決算状況などをご報告させていただきました、また平成29年度の事業計画につきましてもご説明をさせていただきました。ご出席いただいた皆様から頂いたご意見は今後の事業運営に活かして参りますので、組合員・利用者の皆様には、ご理解とご協力を賜り、またJA各事業の積極的なご利用をよろしくお願い致します。



(報告／管理課)

お便りコーナー

読者の皆さんのご意見・ご感想を紹介します。たくさんのお便りお待ちしております。

・毎回楽しみに拝読しております。少ない枚数の中で意味深い1冊です。去年より1反の畑を作っていますが、なかなか大きく育ちません。初回の畑の土床はどのように作れば良いのでしょうかねえ。  
(原田・Yさん)

・大好きなデラウェアの御苦労に感謝しながら食べたいと思います。小松菜は余り関心がなく、作ったこともないので、栄養も多く是非食生活に入りたいと強く思いました。  
(大久・Sさん)

・家庭菜園「小松菜の栽培について」具体的な説明で大変参考になりました。早速種をまきます。  
(元屋・Cさん)

・ピカピカの新入職員さんと窓口等で出会える日を楽しみにしています。  
(上西・Kさん)

・表紙のイラスト楽しみにしています。  
(岬町・Mさん)

・家庭菜園の小松菜の記事は大変参考になりました。暑さには弱いと思っていました。  
(港町・Mさん)

・健康散歩、参考になりました。  
(久見・Sさん)

・営農技術情報とさし絵が目をついた。座談会における質問及び回答も気に入ったです。  
(上西・Fさん)

・「しまねうれしび」は晩ごはんの一品に役立っています。  
(栄町・Mさん)

・毎回届くのを心待ちにしています。家庭菜園は毎号参考にしてます。「営農座談会における質問事項および回答について」はゆっくと又ちよくちよく見たいと思っております。  
(有木・Mさん)

・6月号の本誌が届き、1頁をめくるやいなや特集記事、島根のいいもの再発見!「デラウェア」の園山榮は私の従兄弟でしてビックリ。早速電話で連絡をとりました。彼も70歳ですので無理をせず元気で頑張ってほしいと願っております。  
(布施・Aさん)

【お便り募集中】  
本誌、「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。  
本誌「JAしまねびより」またJAに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。



# 秋から春先まで、 新鮮な味と 栄養価が魅力的な ブロッコリー

板木技術士事務所 ● 板木利隆

抗がん作用が高いと注目される野菜です。カロテンとビタミンCが豊富で、免疫力アップや抗ストレス効果も。カリウム、鉄、クロムなどのミネラルも含まれています。

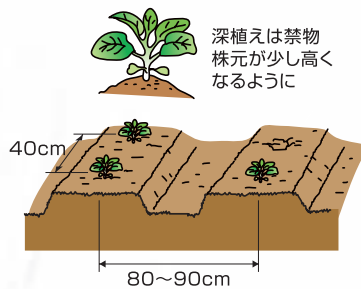
家庭菜園で秋から早春まで長く取り続けるには、品種選びが大切です。頂花蕾（ちょうからい）だけでなく、側花蕾（そくからい）も取れる「頂花蕾側花蕾兼用」品種がおすすめです。

種まきの適期は7月中旬です。育苗期は高温期に当たりますが、秋の生育適温下で最大成長するので育てやすいのです。頂花蕾は10月下旬、側花蕾は10月下旬から3月ころまで長期間収穫できます。

育苗は128穴のセルトレイ、少ない本数で良ければ3号ポリ鉢に3~4粒まきとし、育つにつれて逐次間引きし、1本立てにします。

セル育苗では本葉3~4枚、鉢育苗ではやや大きく本葉5枚ぐらいの苗に仕上げ、本畑に植え付けます。育苗期間は暑い盛りなので、苗はできるだけ風通しの良い、涼しい場所を選び、強光時にはよせず、遮光ネットなどで覆い、灌水（かんすい）は朝夕にたっぷり与えるなど、常に目配りし、入念に管理しましょう。

保水力のある有機質に富む土壌を好むので、植え付ける畑には少なくとも半月ぐらい前に、植え畝の中央部に、くわ幅10~12cmの溝を掘り、良質の堆肥と油かす、化成肥料を長さ1m当たり堆肥5~7握り、油かす大さじ7杯、化成肥料同5杯ぐらいを施します。成長が盛んになったら月2回ぐらい、化成肥料を1株当たり大さじ1杯ぐらい追肥します。頂花蕾を収穫したときには多めに追肥し、側花蕾の発達を促します。



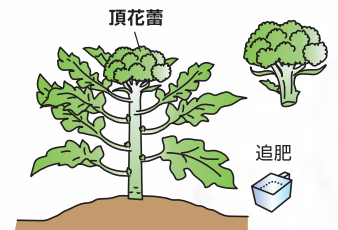
根は湿害に弱く、秋の多雨による病害の発生の恐れがあるので、株元が低くならないよう、特に多雨後の排水に注意してください。

茎の太さの割に草丈が高くなるので、風当りの強い所では小支柱を立てて転倒を防止しましょう。

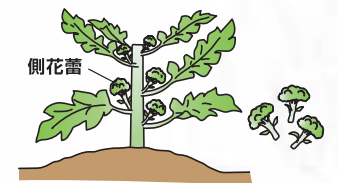
頂花蕾は径12~13cmぐらいで収穫します。茎を長く付け過ぎると側花蕾の数が減

るので、短く切り取ります。側花蕾は大きくはなりません。径4~5cmほどで収穫します。いずれも蕾（つぼみ）が大きく膨らむと品質を損ねますので、緑が濃く花蕾が締まっているうちに収穫します。

アブラナ科の野菜は、苗のうちからアブラムシ、コナガ、アオムシや黒斑病、軟腐病などにやられるので、早期に発見、適農薬を散布して防ぎましょう。



株の周りに追肥して勢いをつけ、良い側花蕾を出させる



小さいがまとめて使えば味に遜色はない

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



タテのカギ

- ②小玉や種なし、四角い物などもある果実
- ⑤縁も——もない人に助けられた
- ⑦117に電話をかけると聞けます
- ⑨ロシアの酒の代表格
- ⑪ワインボトルの底に沈んでいることも
- ⑫オランダゼリともいう葉野菜
- ⑬木などにぼっかりと開いた空洞
- ⑯国語、算数、理科、社会など
- ⑰コンニャクイモの生産量日本一の県
- ⑲目上の人に勧める席
- ⑳アンデス、プリンスといえ

ヨコのカギ

- ①もくもくと高く盛り上がる雲
- ②洋風の上履きの一つ
- ③食事作りや掃除、洗濯など
- ④武田信玄から連想される四字熟語
- ⑥目や鼻や口があります
- ⑧酔うと赤くなる人も
- ⑩古い地層から恐竜の——が見つかった
- ⑬和風の宿泊施設です
- ⑮——より証拠
- ⑰日本列島をぐるりと取り囲んでいます
- ⑲歩き過ぎて足の裏にできちゃった

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	5	9		14	18	
			B			
	6			15		D
2			12		19	21
		10		16		
			C			
3	7		13		20	
	8	11		17		
4						E

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151  
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係  
平成29年8月5日（土）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆  
「カブトムシ」

ユ	カ	タ	ミ	ア	イ
ウ	カ	ウ	ツ	シ	エ
シ	オ	ド	キ	タ	イ
ヨ	ア	ブ	ラ	ニ	
ク	ラ	ク	チ	バ	シ
	ム	シ	ロ	ソ	ヤ
キ	ネ	ン	ボ	ト	

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

健康散步  
JA島根厚生連

水中ウォーキングで夏だって気軽に運動

日々、暑さと戦う季節になりましたね。暑さをアイスクリームや冷えたビールなどでごまかしてみても、気の紛れるのはその一瞬だけ。冷房の効いた部屋の中でついついゴロゴロしていて夏太り…。ここは一気に夏バテと暑さの両方を解消しちゃいましょう。涼しくなって、健康になる。おまけにシェイプアップも出来ちゃうかも!? こんなおいしい話というのは行水と健康づくりを兼ねた水中運動をすることです。中でも泳ぐのは苦手という方も気軽にできる水中ウォーキングはいかがですか？

水中ウォーキングは、地上でのウォーキングに比べ水の浮力のおかげで体重が最大70%も軽くなると言われており、膝や腰への負担が大きく軽減されます。さらに、水の抵抗がかかるために普通に歩くよりも消費カロリーが多くなるのも嬉しいところ！

水中ウォーキングでの注意点は、水の抵抗を受けるために、上半身が反り返りやすくなること。これを防ぐには腹筋を締めて上半身をやや前傾にして歩くようにしましょう。そして、下半身は膝を少し曲げて重心を落とし、足裏全体で水底をつかむように踏ん張って歩きます。腕もクロールのように前から後ろへ水をかくことで前方へ進みやすくなります。水底は滑りやすいのでスリッパに注意してください。

また、水中運動の場合でも、運動量が多いときは体温が上昇し発汗しています。水分不足にならないように水分補給を心がけてください。

楽しく続けるためには、最初はやや楽に感じる、物足りない程度からスタートし、徐々に時間を伸ばしていくことが大切です。暑いこの季節には、水中が気持ちよくついつい時間が長くなったり、浮力で楽に歩けるので歩き過ぎになつたりと、過疲労にならないことがあるので、少しずつ自分の体と相談をしながらはじめましょう。水中ウォーキングで暑さを紛らわし、暑さに負けない体作りをしてみませんか？



理事会情報 (5月30日開催)

監査報告

平成28年度決算監事監査報告について

協議事項

- ①平成29年度国庫及び県単補助事業の実施について(追加)
- ②大口貸出金の承認について
- ③体制整備基準における「効率化店舗」の設置・運営に係る要項設定について
- ④島根県常例検査書の回答について
- ⑤JA全国監査機構による期中改善指示事項(期中監査)に対する回答について
- ⑥組合と理事との取引(契約)の承認について
- ⑦経理規程の一部改正について
- ⑧平成28年度決算の承認について
- ⑨第3回通常総代会への附議議案について
- ⑩本店子会社等の役員への役員職員の推薦について

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成28年度地区本部別損益について
- ㉘平成29年4月主要実績について
- ㉙子会社等の現況一覧について
- ㉚島根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉛第3回通常総代会当日の対応について
- ㉜平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉝監査(第4四半期)報告書について
- ㉞平成28年度業務活動報告書について
- ㉟その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㊱その他② 農政をめぐる情勢について
- ㊲その他③ 青年・女性理事 活動報告等

報告事項

- ①平成28年度農業戦略実践3カ年営農計画進捗状況について
- ②ふるい目更新に伴う県単事業・JA支援事業の活用について
- ③農業経営管理支援事業(経営コンサル)の平成28年度総括および平成29年度実施計画について
- ④県域担い手サポート事業に係る取り組み状況報告(第4四半期)
- ⑤農業防災保険の加入状況について
- ⑥平成29年度島根米食味向上(特A獲得重点

- ⑦プロジェクト)の取組みについて
- ⑧米穀園芸情勢について
- ⑨第11回全国和牛能力共進会出品対策について
- ⑩鳥根県牛牛公正取引条例の見直しに係る対応について
- ⑪雲南畜産総合センターの平成28年度末実績報告及び地区本部損益配賦について
- ⑫第2期生産資材価格低減プロジェクト(飼料部門)中間とりまとめについて
- ⑬JA西日本くみあい飼料(株)倉敷工場の稼働について
- ⑭畜産情勢について
- ⑮平成29年秋肥価格(6-10月)について
- ⑯生産資材価格低減プロジェクトについて(第2期中間報告)
- ⑰第7回農機総合展示会開催企画について
- ⑱金融円滑化にかかる貸出条件変更等の実施状況について
- ⑳平成28年度防犯カメラ寄贈について(全共連事業)
- ㉑平成28年度カーブミラー寄贈について(全共連事業)
- ㉒組合と理事との取引(契約)の報告について
- ㉓事務ミス報告について
- ㉔自主検査実施報告について
- ㉕コンプライアンス実践状況について
- ㉖平成28年度における統合メリットについて
- ㉗平成28年度地区本部別損益について
- ㉘平成29年4月主要実績について
- ㉙子会社等の現況一覧について
- ㉚島根中酪の株式会社化に伴う財務確認について
- ㉛第3回通常総代会当日の対応について
- ㉜平成29年6月1日付け本店人事異動について
- ㉝監査(第4四半期)報告書について
- ㉞平成28年度業務活動報告書について
- ㉟その他① 鳥根県系統農協・警察防犯対策協議会業務推進状況について
- ㊱その他② 農政をめぐる情勢について
- ㊲その他③ 青年・女性理事 活動報告等

# 知って納得JA

—協同組合の力—

Q JAは何をしている協同組合なの?

A 農業を中心に、地域住民のくらしをより良くするための事業を行っています。

JAは「農業協同組合」なので、地域農業を発展させ、組合員のくらしを守り高めることが最も重要な目的です。農業の生産力を高め、農業所得を向上させるため、営農技術の指導の他、安全で品質の良い肥料や農薬、農機具などを適正な価格で提供するなど、農家を総合的に支えています。

JAでは「農業」を農地、食べ物、地域のくらしや環境なども含めて広い意味で捉えます。学校給食への農産物の提供や農業体験などを通じて地産地消を促し、農業と食・くらしをつなげています。信用・共済事業の他、高齢者福祉事業なども行い、地域にくらす人々の生活をより良いものにする事で、地域の活性化に貢献しています。

(監修=広島大学 助教 小林元)

## JAが行っている主な事業

指導事業



農家にアドバイスをする仕事です。職員が農家のもとに出向き、おいしくて安全な農産物の作り方や家畜の育て方、農業の経営などについて相談にのっています。

販売事業



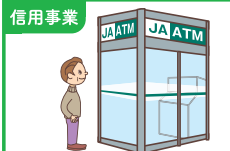
農産物などを販売する仕事です。農家から集めた農産物を共同で市場に出したり、直売所で販売したりしています。農産物を適正な値段で販売することは、農家の経営を支えるためにとても大事なことです。

購買事業



質の良い物をまとめて買って分ける仕事です。共同購入のしくみで、安全で品質の良い肥料や農薬、家畜の餌、農業機械、くらしに必要な物を計画的にまとめて買うことで、組合員は安定的に購入することができます。

信用事業



組合員からお金を預かり(貯金)、それぞれの組合員が必要なときに、借りることができる(貸付)ようにするなどの仕事です。集まったお金は組合員の農業やくらしのために役立てられ、地域の金融機関として大切な役割を果たしています。

共済事業



組合員やその家族、地域の人々が安心してくらすための仕事です。組合員はあらかじめ一定の「共済掛金」を拠出して共同の財産を準備し、火事や病気、自動車事故などが生じた場合に「共済金」を支払います。

耕そう、大地と地域のみらい。



ハチを見かけたら巣づくり警報!

**無料調査**  
**ハチ**  
**駆除**

**近寄らず、触らず!!**  
ハチの駆除はプロにお任せください。

ハチの駆除をご希望の方は  
最寄りのJAまでご連絡ください。  
JAしまね取扱業者(株)コダマサイエンスの  
地区担当者が訪問させていただきます。



お問い合わせ先

最寄りのJA各支店・  
支所にお問い合わせ  
ください

取扱業者

(公社)日本しるあり対策協会企業登録(島根県002・鳥取県002)

**Kodama** 株式会社 **コダマサイエンス**

■本社 / 島根県松江市西嫁島2-8-23 ☎0852-43-0852

■松江営業所 / ☎0852-26-6757 ■江津営業所 / ☎0855-52-6852

■益田営業所 / ☎0856-22-5390 ■隠岐営業所 / ☎08512-2-2471

そなえていますか?

**クミアイのおくすり**



かぜ、胃腸の不調、小さなケガや  
軽い症状は自分で治しましょう。

それが、**セルフメディケーション**です。

(自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てすること)



「クミアイ家庭薬」のメリット

- 使った分だけ後払い、家計にやさしく経済的!
- 期限の切れそうな薬も、**無料**でお取り替え
- 季節やご家族のニーズに合わせて補充
- 災害など緊急時にも安心の常備薬!
- クミアイ家庭薬で「明日はもっと健康に」



**クミアイ家庭薬**

お問  
い合  
わせ  
先

**JAしまねの各支店** または

協同薬品工業(株)島根営業所 ☎0853-73-7430

**JAグループ**

## きゅうりと鶏むね肉の中華風



電子レンジを使いサツとできあがります。暑い夏に酢とごま油であっさりした味なので、いくらでもキュウリがおいしく食べられる一品です。きゅうりは、ほった体を冷やしてくれます。

## ●材料 (4人分)

鶏むね肉	1枚 (約300g)	醤油	大さじ1
塩、こしょう	適量	酢	大さじ1
酒	大さじ1	ごま油	大さじ2/3
きゅうり	2本	黒ごま	大さじ1

## ●作り方

- ①きゅうりは3~4等分に切り、縦に4等分の棒状に切り、塩を少し置き、水洗いして水気を絞る。
- ②鶏肉に塩、こしょう、酒をふりラップをしてレンジに5~6分かける。火が通ったら手で一口大にさく。
- ③ボールに調味料を合わせ、鶏肉を混ぜ込み味をなじませてから、きゅうりを入れ和える。

## トマトつけだれ・そうめん



トマト入りのそうめんつゆなので、色が綺麗でトマトの旨みも加わり、そうめんがいくらでも食べられます。洋風イメージのあるトマトを、和風でさっぱりといただける涼麺メニューです。

## ●材料 (4人分)

そうめん	6~8束	トマト	中4個
きゅうり	少々	水	400ml
薬味		ほんだし	小さじ1
大葉	5枚	みりん	大さじ4
みょうが	2~3個	しょうゆ	大さじ3
おろししょうが	少々	塩	小さじ1
白ごま	少々		

## ●作り方

- ①トマトは皮を湯むきして種を取り1cm角に切る。
- ②水、ほんだし、しょうゆ、みりん、塩を沸騰させ火を切り冷ます。
- ③冷えたらトマトを入れ冷蔵庫に入れ冷やす。
- ④きゅうりは千切りにする。
- ⑤みょうが、大葉は千切りにして薬味にする。
- ⑥そうめんをゆで、皿に盛りキュウリを添える。
- ⑦薬味とトマトダレをつけて食べる。



## 表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、島根県西部を流れる高津川の鮎釣りの様子です。高津川は、水質日本一に何度も選ばれている全国屈指の清流で、日本で唯一ダムが無い一級河川としても有名です。また、高津川の鮎は薫り高く美味しく人気があり、シーズンには全国から釣り人が訪れます。

## 編集後記

今月の表紙に描いて頂いた鮎釣り。私の父も昔から鮎釣りをしており、子供の頃からいつも食べさせてもらっていました。塩焼きや背ごし(刺身)、鮎ご飯など、とても美味しいですね。私も一度だけ友釣りに挑戦しましたが、難しいものでした。(藤)



【今月の表紙の原画】  
原画の全体は次のとおりです。